

平成 27 年度第 2 回協議会以降に実施した事業について

1 障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ

「ココロン・カフェ」

(1) 実施日時及び参加者数等

① 第 7 回ココロン・カフェ

日 時：平成 27 年 6 月 10 日（水）10：00～12：00

場 所：仙台市職員研修所

参加者：43 名（7 グループで意見交換実施）

うち協議会委員（市川委員、黒瀧委員、杉山委員、千葉委員）

② 第 8 回ココロン・カフェ

日 時：平成 27 年 6 月 13 日（土）14：30～16：30

場 所：仙台市役所本庁舎 8 階ホール

参加者：55 名（8 グループで意見交換実施）

うち協議会委員（杉山委員、千葉委員、畑中委員）

(2) 実施内容

① はじめに

② 仙台市説明

- ・障害を理由とする差別の解消を推進するための取り組みについて
- ・障害者施策推進協議会で検討された内容について

③ ワークショップ

- ・グループワークによる意見交換
 - 「差別解消のための具体的なアイデアを出しあおう」
 - 「差別解消のために自分ができることを考えてみよう」
- ・意見発表

(3) いただいたご意見等

○当事者による発信・啓発に関する意見

- ・障害のある人が外に出て仕事をしたり、様々な活動に参加したりすること自体が障害の啓発や理解促進につながるのではないかと。
- ・もっと障害当事者の話が聞ける機会を増やしていけるといい。
- ・企業などの業界団体に対する研修を、当事者の人も関わってきちんとやって、知ってもらおう。
- ・障害のある人が出前講座を行なって、それを子どもが受講して帰ってから親に伝えることによって障害への理解が深まるのではないかと。

- ・ 周りの人が良かれと思ってやっても、それが押し付けになっていることがあるので、具体的にしてほしいことを伝えていかなければならない。
- ・ できないことを言うのではなく、こうしてもらえると助かるなどプラスのことを伝えていくといいのではないか。
- ・ バスの中で嫌な対応をされたらきちんと言うとか、逆にすごく良い対応をしてくれる運転手さんには「ありがとう」とか「また乗りたい」ということをきちんと伝えていくなどの小さなひとつひとつが大切。

○身近でできる活動や取り組みに関する意見

- ・ 1対1も大事だが、ピアサポーターのような当事者グループの活動も大事である。
- ・ 地域ごとに少人数でもいいので、グループになって近所の見守りができるといいのではないか。
- ・ 団体の活動にインターンシップで学生を受け入れて、実際に自立して生活している当事者を見てもらうといい。
- ・ 障害について知ってもらうきっかけが身近にたくさんできるといい。
- ・ 自分たちも町内会単位でココロン・カフェをやってみたい。
- ・ 次回のココロン・カフェにはまた違う人を連れて来たい。
- ・ ココロン・カフェに参加した感想や意見を内部で留めるのではなく、自分の暮らす地域や組織に発信していくことが大事ではないか。

○交流の場についての意見

- ・ お互いにわからないから遠慮してしまったり、申し訳ないと思ってしまうたり、もどかしい関係になる。交流の場を作って話し合っ理解していくことが必要。
- ・ 障害のある人への対応は慣れも必要で、交流の場数を踏んでいくことが大事。
- ・ コミュニティの中から困っている人の話をすくいあげていくということも大切ではないか。
- ・ 今まではどうしても周囲に自分というものが理解してもらえなかったが、ボランティア活動をすることによって自分がここにいるということを知ってもらえたし、お互いのコミュニケーションが広がった。
- ・ 施設の職員が忙しすぎて、利用者が気を使って言いたいことが言えないということがあある。意見交換の場を作ったり、一緒にイベントをやったり、対等に楽しめる活動やつながりを作ることが大事ではないか。

○理解促進のための広報・啓発に関する意見

- ・ 実際に企業や店舗に研修して、理解してもらえたら、その店にシールを貼ってもらうといった取り組みをしてはどうか。
- ・ ヘルプカードを広めていくといいのではないか。
- ・ ヘルプカードだけではなく、身近に助けがほしいというようなマークがあるといい。ココロンのぬいぐるみの使用や、ココロンのバッチを作ってみてもいいのではないか。
- ・ 小さいうちからの啓発は必要。事例集やパンフレットを学校や教育の場に持ち込んで訴えていってはどうか。
- ・ ピアニストの辻さんのコンサートをやってはどうか、辻さんのお母さんや周りの人など辻さんを支えた人の話が聞けるといい。

○その他の意見

- ・ 日常の中で嫌な思いをしたときにどこに相談したらいいのかわかりにくいので、わかりやすい相談窓口があるといい。
- ・ 実際に差別があったときに、当事者同士の話し合いでは限度があるので、話し合うシステム、後ろ盾が必要。
- ・ 「サポーターの養成」については、マニュアル的なことだけ覚えて終わりではなく、実践的な養成講座にしてほしい。
- ・ 聴覚障害の方がバスに乗っているとき、事故や到着時間が大幅に遅れるなどの連絡は運転手のアナウンスだけで、テロップにならないのでわからない。音声を手書きに変換する仕組みがあるといい。
- ・ まちづくりにあたっては、計画を作るときなどに、当事者が関わるべきだ。
- ・ 障害の問題に関しては、人権問題として考えることが大切。

○ココロン・カフェに関する意見

- ・ 障害のあるなしに関わらず集まれる場所があるといい。まさにこのココロン・カフェがそういった場所である。今後も継続するべき。
- ・ マスコミやテレビでの発信や、市政だよりへの掲載、もしくはチラシを市政だよりに挟むなどして、ココロン・カフェをもっと多くの人に知ってもらえるといいのではないか。
- ・ 行政側でココロン・カフェに対する広報や啓発が少ないのではないか。
- ・ サポートがあってこの場に来られる方だけでなく、家から出られない方の話も聞きたい。
- ・ ココロロン・カフェを、関心がない人も参加しやすい雰囲気改善していくことも大事ではないか。

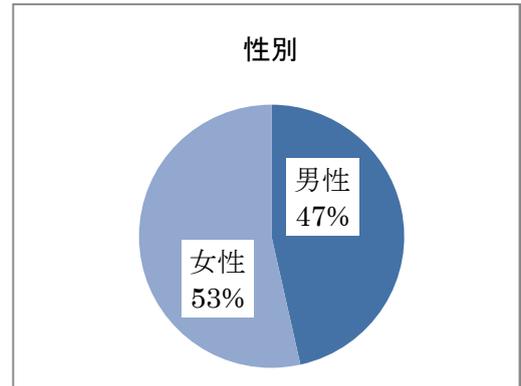
(4) 実施状況について（アンケート結果より）

【第7回ココロン・カフェ】

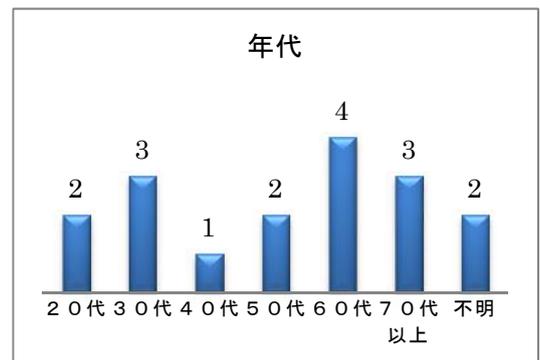
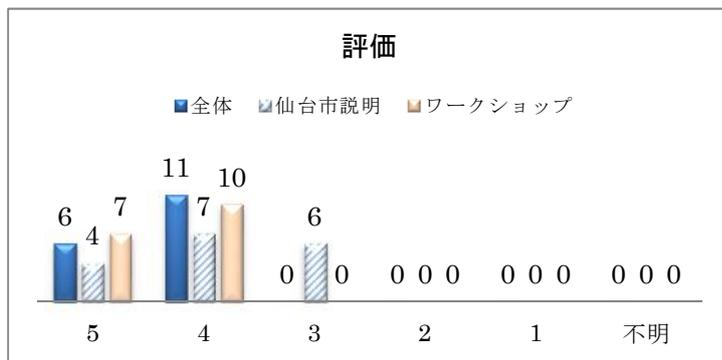
○ 参加者数

男性	女性	合計
20人	23人	43人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者など



○ アンケート結果（回収 17 人：男性 6 人/女性 8 人/不明 3 人）



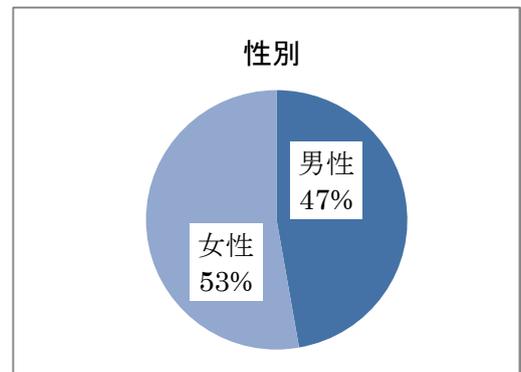
5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

【第8回ココロン・カフェ】

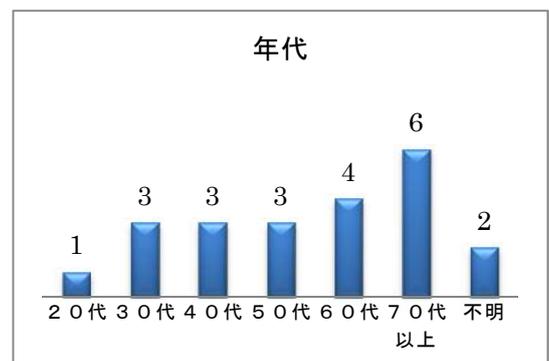
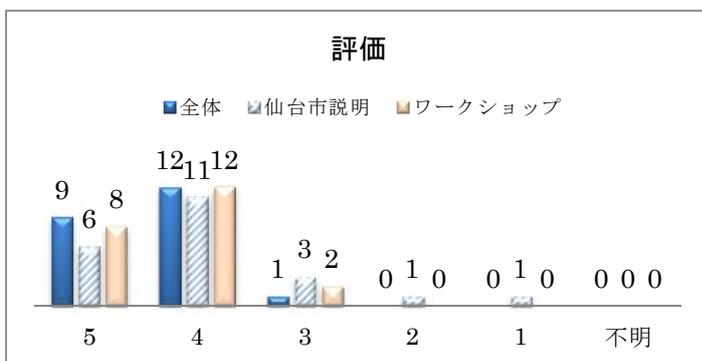
○ 参加者数

男性	女性	合計
26人	29人	55人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者、学生など



○ アンケート結果（回収 22 人：男性 7 人/女性 14 人/不明 1 人）



5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

○アンケートの主な感想・意見等

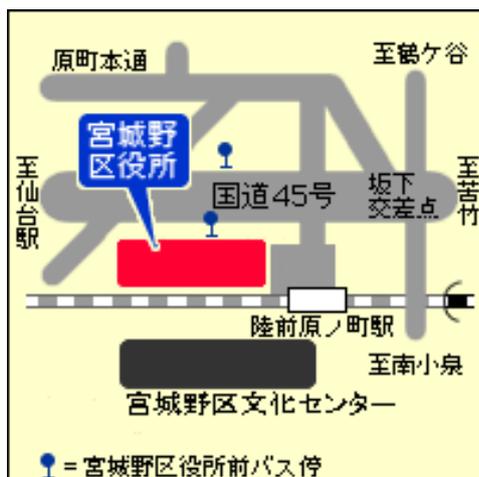
- ・ とても良い取り組みだと実感しました。周囲を巻き込みながら「私」が何ができるか、考えていきたいと思いました。
- ・ 支援者・学生・当事者の生の声が聴けて良かったです。
- ・ カフェの前に講演会的な機会を作れたら。
- ・ 2回目の参加ですが、今回の方が良かった。
- ・ 会の終了後に交流会ができればいい。
- ・ 関係機関に属する人によびかけしてみてもいい。
- ・ 個々の意見が出される中、時間の制約から言い切れない。じっくり聞きたかった。
- ・ 障害当事者、又、関係する方々の参加の中に、健常者、一般の方々が数多く参加できる呼びかけに工夫してもらえればと思う。
- ・ 障害によって制限があることはよくないと改めて感じました。
- ・ 私は発達障害の当事者ですが、それを理解してもらえない時はしんどく感じます。偏見をもってほしくないですし、もっとプラスの面にも目を向けてほしいです。
- ・ グループワークのテーマの決定については、障害者の意見も取り入れて決めては。
- ・ 条例成立後もココロン・カフェは続けてもらいたい。本来の理念の定着を確認していくことが必要。
- ・ ココロン・カフェのサブタイトル「名称」として「タウンミーティング」を銘記（明記）していく。
- ・ 仙台市議会議場を車椅子等で傍聴できるように『バリアフリー化』を検討議題に登らせてください。
- ・ 時々、小中高などの教室をかりて open にしてみたらどうかと考えました。”open カフェ”（知って頂くために）
- ・ いろんな障害についてわかりましたし、立場の声も知りました。ありがとうございました。
- ・ 当事者からのお話を聞くことの大切さを感じました。
- ・ ココロン・カフェのことを広く宣伝してください。
- ・ 障害者を雇用している経営者の話が聞きたい。
- ・ 条例制定の進捗をもう少し聞きたかった。一方通行なのはやや残念。
- ・ 初めて参加させていただきました。平均年齢が高く驚きました。当事者の話を聞くことができ、とても勉強になりました。他の学生にも紹介したいと思いません。
- ・ 日々の思いを思うまま伝えられました。話も充実していました。

(5) 第9回以降のコロン・カフェ実施予定

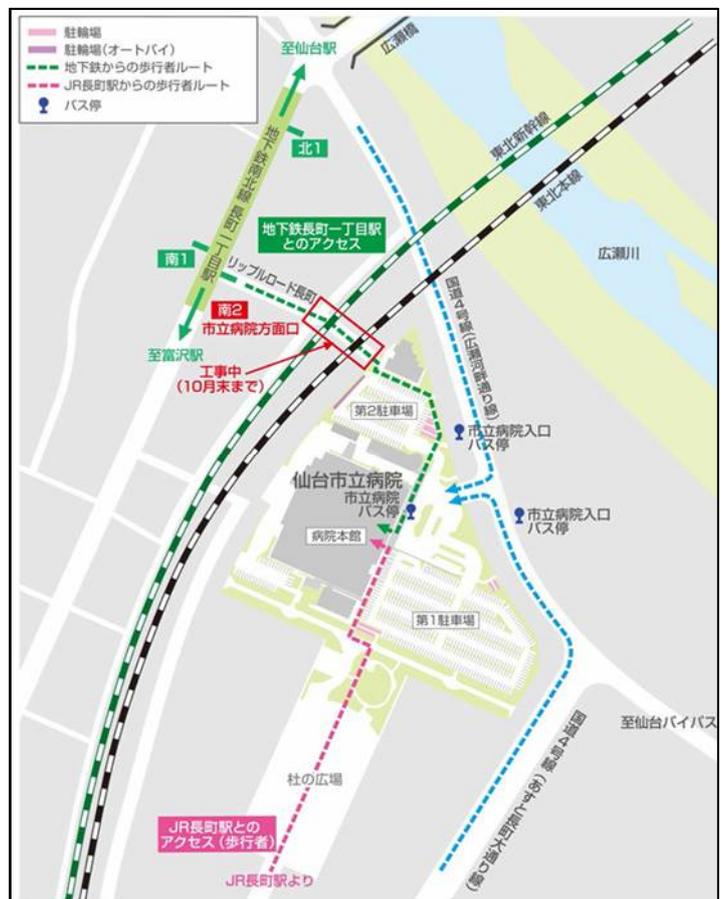
	日 時	場 所	人数
第9回	平成27年7月6日(月) 14:00~16:00	福祉プラザ1階 プラザホール	50名程度
第10回	平成27年7月18日(土) 14:00~16:00	仙台市立病院 3階講堂	70名程度
第11回	平成27年8月7日(金) 10:00~12:00	宮城野区役所 6階ホール	50名程度
第12回	平成27年8月9日(日) 14:00~16:00	仙台市役所本庁舎 8階ホール	70名程度



仙台市福祉プラザ
仙台市青葉区五橋二丁目12-2



宮城野区役所
宮城野区五輪二丁目12-35



仙台市立病院
太白区あすと長町一丁目1-1

<参考>

障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ
「ココロン・カフェ」実施状況

	日時	場所	テーマ	参加者数
1	平成 26 年 10 月 22 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	障害ってなあに？	43 名
2	11 月 23 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	障害ってなあに？	69 名
3	平成 27 年 1 月 27 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	障害を理由とする差別を解消 するためにはどうしたらいい ～差別と感じた事例を検討し、 解決の方法を考えてみよう～	46 名
4	3 月 1 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	障害を理由とする差別を解消 するためにはどうしたらいい ～差別と感じた事例を検討し、 解決の方法を考えてみよう～	74 名
5	4 月 19 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	条例の理念について考えよう	42 名
6	4 月 22 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	条例の理念について考えよう	75 名
7	6 月 10 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台市職員研修所 2 階大研修室	差別解消のためのアイデア を出しあおう	43 名
8	6 月 13 日 (土) 14 : 30 ~ 16 : 30	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	差別解消のためのアイデア を出しあおう	55 名
計				447 名

2 差別事例検討部会（第5回、第6回）

（1）第5回

① 実施日時

日 時：平成27年5月22日（金）18：30～20：30

場 所：仙台市役所本庁舎6階第1会議室

② 議題等

- 事例集の趣旨等について確認
 - ・事業者や市民向けに障害を理由とする差別とは何か、また合理的配慮について事例等を通じて分かりやすく周知する。
 - ・障害に関する理解の不足が差別発生の一つの要因とされることから、理解促進のため、障害特性等に関して紹介し、周知する。
- 事例集素案の内容についての検討（1回目）

（2）第6回

① 実施日時

日 時：平成27年6月16日（火）18：30～20：30

場 所：仙台市役所本庁舎5階第1会議室

② 議題等

- ・事例集素案の内容についての検討（2回目）

（3）今後のスケジュール

平成27年6月～平成27年7月中旬

○ 事例集素案の記載内容等に関する関係機関等への照会
平成27年8月

- 第7回差別事例検討部会
 - ・事例集の内容確認

平成27年9月

- 発行予定